

◆事務所事業概要

新名神高速道路は名神高速道路と交通機能を適切に分担することで、名神の混雑を解消し、高速道路ネットワークに求められる「高速性」「快適性」「安全性」「定時性」「信頼性」などの機能を高めるとともに、我が国の産業・文化・社会経済活動の振興に寄与することを目指しています。  
NEXCO西日本新名神大津事務所では、新名神高速道路(大津JCT(仮称)～城陽JCT・IC間)建設の滋賀県域:12.2km及び甲賀土山IC～大津JCT(仮称)間の6車線化事業(28.5km)を担当しています。

3 名神リニューアル工事実施時における円滑な交通の確保



リニューアル工事状況(床版取替)



高速道路損傷状況(熊本地震(左)、大雪による立ち往生(右))

2 ネットワークの代替性強化による安定的な交通の確保



1 物流の効率化による生産性の向上

三重 主要渋滞ポイント

IC:インターチェンジ JCT:ジャンクション SA:サービスエリア

◆新名神高速道路(大津JCT(仮称)～城陽JCT・IC間)滋賀県域:12.2kmの進捗状況

新名神(滋賀県域の新設区間)では、用地取得及び埋蔵文化財調査は完了しています。工事は、全ての工事区で着手しています。なお、新名神高速道路(大津JCT(仮称)～城陽JCT・IC間)(八幡京田辺JCT・IC～高槻JCT・IC間)の6車線化が事業化され、合わせて工事を実施しています。

◆各地区の進捗状況(令和4年8月1日現在)

完了 ◆ 実施中 ◇ 実施予定 □

区間	進捗率(%)	大津JCT(仮称)～城陽JCT・IC(滋賀県域)(12.2km)											
		大津大石工事区(5.8km)			大津田上工事区(3.9km)				大津上田上工事区(2.5km)				
学区名		大石学区(6.4km)			田上学区(3.3km)				上田上学区(2.5km)				
自治会名(km)		小田原町	龍門町	中町	東町	関津	里	枝町	森町	羽栗	新免	中野町	牧町
		2.1km	2.4km	0.4km	1.5km	1.0km	0.3km	0.7km	0.5km	0.8km	0.4km	0.9km	1.2km
用地取得のための協議	設計協議	100	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆
	幅杭設置	100	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆
用地取得	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	
埋蔵文化財調査	-	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	
工事着手	本線	100	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	
	工事用道路	-	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	

◆新名神高速道路における6車線化事業の整備効果

1 物流の効率化による生産性の向上

課題: 新名神高速道路は開通以降、大型車の交通量が増加傾向にあります。また、交通の集中に伴う渋滞も増加傾向がみられます。

効果: 6車線化によって、低速の大型車と高速の普通車の混在による速度低下や事故リスクを低減し、物流の効率化に寄与することができ、生産性の向上が見込めます。

2 ネットワークの代替性強化による安定的な交通の確保

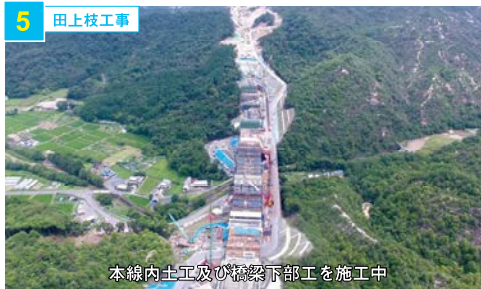
課題: 名神高速道路は降雪・地震などの災害リスクポイントを抱えています。特に、琵琶湖西岸断層帯などの近隣地域では、地震発生時の機能停止が懸念されます。

効果: 6車線化により、名神高速道路とのダブルネットワークの安定性が向上します。これによって、降雪や地震等の災害発生時に名神高速道路が通行止めとなった場合においても、新名神高速道路を代替路として利用することができ、安定的な交通を確保することができます。

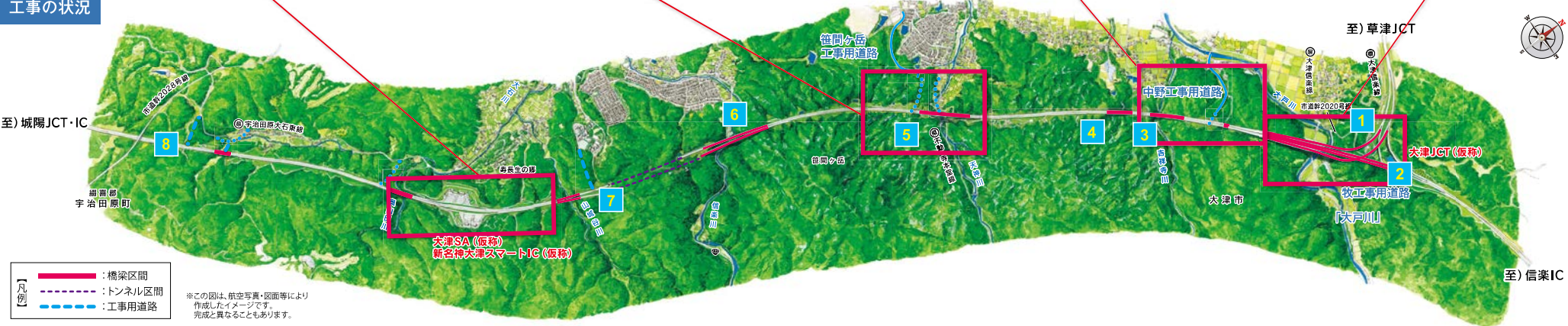
3 名神リニューアル工事実施時における円滑な交通の確保

課題: 名神高速道路は開通から50年以上が経過しており、今後リニューアル工事が本格化していきます。米原JCT～草津JCT間のリニューアル工事においては、主な迂回路が新名神高速道路となります。

効果: 名神高速道路のリニューアル工事実施時に、う回車両により新名神高速道路の交通量が増加した場合でも、6車線化によって渋滞の発生を抑制し、名神高速道路を軸とした円滑な交通を確保できます。

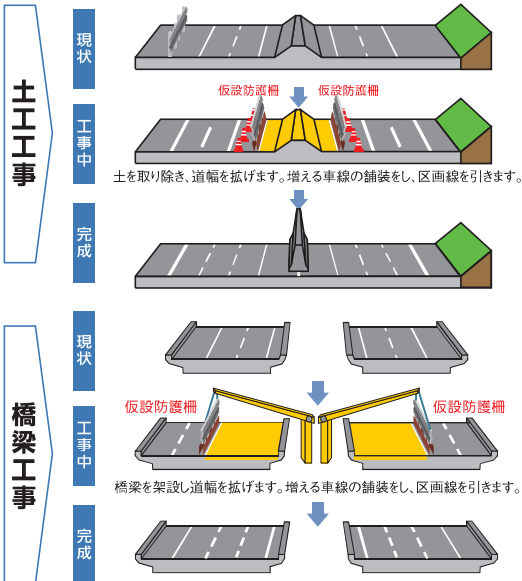


工事の状況



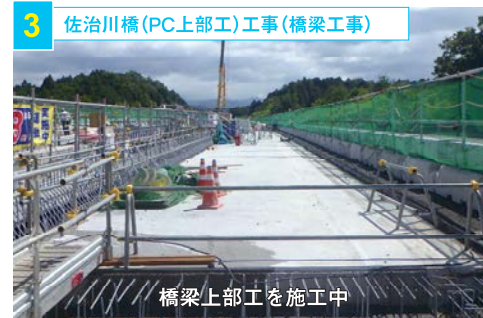
新名神(大津JCT(仮称)～亀山西JCT間)の6車線化工事に伴う車線規制を実施しています。  
～車線規制や路肩が狭くなる区間がございますので、注意してご走行ください～

順次6車線に広がります!



6車線工事の内容

NEXCO西日本新名神大津事務所では、新名神高速道路 甲賀土山IC～大津JCT(仮称)間の6車線化事業を進めています。6車線化に向け、土工工事や橋梁工事、そして舗装工事などを行います。  
※仮設防護柵設置時に車線規制を行います。※工事中は路肩が狭くなるので、注意して安全走行をお願いします。



■ 甲賀土山IC～大津JCT(仮称)間

**盛土を除去して道幅を拡張**

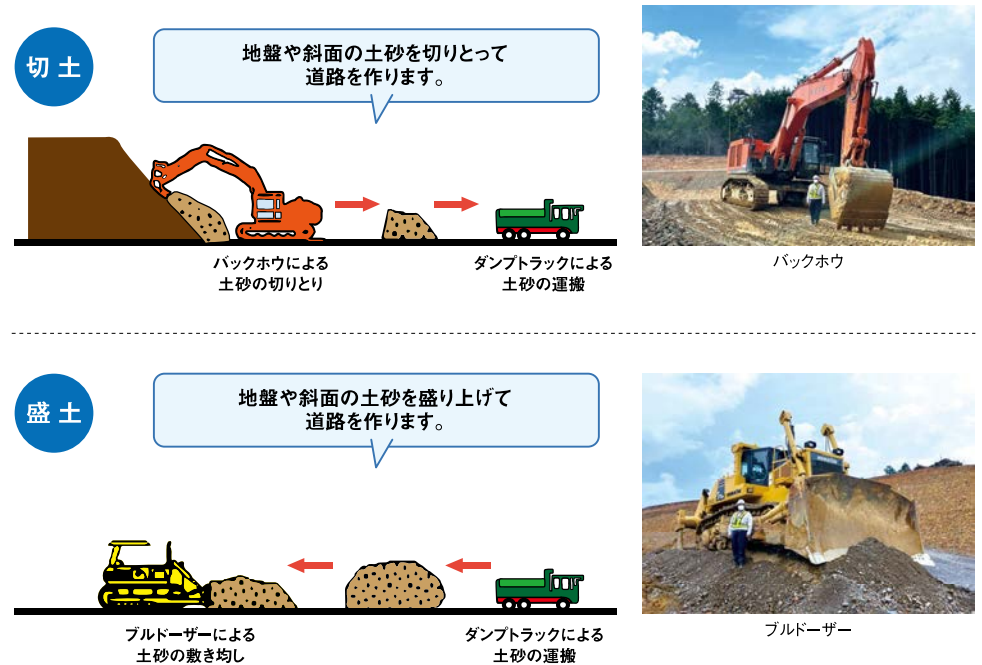
新名神高速道路 甲賀土山IC～大津JCT(仮称)間の6車線化に向け、「土工工事」で道幅の拡張を行っています。  
6車線化に向け、引き続きご理解とご協力をお願いいたします。



■ 大津JCT(仮称)～城陽JCT(仮称)間

**大型重機で効率的な道路構築**

大津JCT(仮称)～城陽JCT(仮称)間においては、大型重機を活用して道路建設工事を進めています。  
工事の効率化を図り、早期の開通を目指します。



活用する重機の紹介

■ キャリアダンプ

高速道路内の事業において、狭いスペースで作業が行われる際は、土運搬の工夫が必要です。  
現在進めている土工工事で使用されるキャリアダンプは、360度旋回機能により、方向転換のためのスペースが不要となり、狭い作業場でも土運搬がしやすくなっています。上部旋回により常に前を向いての走行が可能のため、バック走行の必要もなく安全性が向上します。



活用する重機の紹介

■ 重ダンプカー

重ダンプカーとは最大積載量11トンを超える非常に大きなダンプトラックです(右写真の男性180cm)。  
1度で大量の土砂・岩石が運搬できるだけでなく、耐久性を考慮したオフロード用タイヤを有し、急坂路での安全な長距離移動ができるような構造になっています。  
工事現場において、運搬能力・耐久性・操作性の高さから道路建設に用いられています。

